

P-27

Gardner 分類 TE の評価と iDAScore ver.2 の評価の相違、および iDAScore ver.2 を用いた培養士による TE 評価の再検証

村井未来 1 中野達也 1 中岡義晴 1 森本義晴 2

1.IVF なんばクリニック 2.HORAC グランフロント大阪クリニック

#### 【目的】

Gardner 分類は胚の形態を胚培養士が評価するため、個人差が生じる一方 iDAScore は AI による評価であり、より安定した結果が得られる。しかし、iDAScore は発生速度や形態など複数の要素を加味して点数をつけるため、その評価基準は明確ではない。本研究では、Gardner 分類 TE 評価と iDAScore ver.2 で評価が異なる胚に注目し、その特徴を分析した。

#### 【方法】

2024 年 1 月から 2024 年 12 月に単一胚盤胞移植を行った 670 周期を対象とし、PGT 胚は除外した。TE A および B 評価の胚を AB 群、TE C 評価の胚を C 群とし、iDAScore は 1.0-3.9 を低スコア、4.0-6.9 を中スコア、7.0-9.9 を高スコアと定義した。AB 群および C 群のスコア別妊娠率を比較し、AB 群の低スコア胚の特徴を分析した。

#### 【結果】

TE:AB 群におけるスコア別の妊娠率は、iDAScore が高いほど妊娠率が高かった (33.3% vs 52.8% vs 63.9%,  $P < 0.05$ )。TE:C 群におけるスコア別の妊娠率に差は認められなかった。また各スコア群の比較では中スコア群で TE:C 群より TE:AB 群の妊娠率が有意に高かった (52.8% vs 38%,  $P < 0.05$ )。AB 群の低スコア胚を動画にて確認したところ多くは発生遅延胚であったが C 評価相当の胚も含まれており、個人によるグレード評価の偏りも散見された。

#### 【考察】

TE:AB 群では iDAScore を用いて移植胚を選定することが有用であることが示されたが、TE:C 群では必ずしもそうとは限らなかった。Gardner 分類では画像のピントによる評価のばらつきがあり、評価の難しさが浮き彫りになった。iDAScore と TE 評価を組み合わせることで、より補完的な評価が可能になることが示唆された。